

留学先からの報告

2016/05/15

The Scripps Research Institute

荻田 譲

サンディエゴは四季というほどの四季がなく、一年中 25 °C くらいの過ごしやすい気候が続いています。気付いたら今月で渡米して一年になっていました。四季もないと時間が過ぎるのがなおさら早く感じます。

2月で授業がひと段落し、来年の3月まで授業がありません。一日中実験に専念できる期間が少なくとも一年取れたので今のうちに何かしら結果を出して形にしたいと思っていますところですよ。

研究テーマがここに来てすぐもらった天然物の全合成から変わりました。以前の分子は初っ端の鍵反応がうまくいかなかったこと、Phil がそこまで分子に興味になさそう（飽きた？）ことから、Baran 研が長らく興味を持っていた別の分子の全合成（仮）の手伝いをする事になりました。一緒にやっているポスドクの人はとても面倒見が良く、いつでディスカッションに付き合ってくれ、有益なアドバイスをくれます。合成達成まであと鍵反応一つを残すだけなのですが、最後の反応が全反応の中で最も問題が多く（だから最後まで残った）苦しい状況が続いています。反応自体がとても難しく、前例がそもそもあまりありません。少数の既知反応を大方試したけれど今の所どれもうまくいっていません。正直もうアイディアがないので全く新しい反応を開発するか、どこかのイカしたグループが実用的な反応を開発してくれるまで待つしかないのではと思っています。

また、ついこの間まで以前の研究室のボス、中村栄一教授が Scripps に講演に来ていました。Scripps にいる人たちは hard-core な有機化学者ばかりなので、Scripps の人たちには中村先生の研究の話はあまりウケなかったというのが正直な印象です。しかし hard-core な有機化学者もこんな変わったことができる、こういった新しい有機化学の見方もある、一流になるには完全に新しいことをしなくてはならない、ということを示したという意味で有機化学者こそ彼の講演に耳を傾けるべきだというのが個人的な感想です。講演翌日は一日中時間をとって一緒にサンディエゴ観光をさせていただきました。写真はミッドウェイ級航空母艦ネームシップ、ミッドウェイの飛行甲板上での一枚です。現在は博物館として解放されています。3時間いきましたが時間が足りないほど楽しめたのでサンディエゴを音連れた際は是非足を運んでみてください。

散髪行くのが面倒だしリスクを取りたくないで生まれて初めて坊主にしました。便利ですねこれ。

